

15の事例から学ぶ

虐待事故防止対策と発生時の対応

- 多様化する虐待事故とトラブル -

虐待・不適切なケアが大きな問題になっています。以前は認知症利用者への対応で理性を失って起きる虐待がほとんどでしたが、最近では虐待の原因は多様です。管理者と役職者が虐待事故の原因をきちんと把握し、平常時から虐待防止対策を講じていかなければ、いつか虐待事故は起きてしまいます。また、虐待事故や虐待の疑いが発生した時の対応を誤ると、更に大きなトラブルになりますから、管理者の適切な対応も重要です。本セミナーでは15件の虐待(疑い)事故の事例から、防止対策と発生時の対応を解説いたします。

1. 「虐待が犯罪だとは考えていなかった」と語った職員
2. 持病の悪化で受診、足のアザを医師が発見し虐待通報
3. 「職員による虐待」という匿名の告発クレームへの対応
4. 虐待の疑いをかけられ聞き取り調査をしたが苦情申立に
5. 「虐待の疑いがあるので見守りカメラを設置する」と言う家族
6. ヘルパーによる利用者虐待を引き起こした隠れた要因
7. 息子からのカスハラに耐えかねて毎晩利用者に暴言を吐いた職員たち
8. 利用者の髪にリボンをたくさん結びブログにアップした新入職員
9. 転倒回避のために腕を握ったらアザになり虐待の疑い
10. 入浴前の更衣で利用者に髪をつかまれ手首を骨折させた
11. レクリエーターが悪乗りして利用者の頭に禿げの被り物を載せた
12. 原因不明の骨折と原因不明の内出血で警察に通報した家族
13. 利用者の顔写真を加工して遊んで虐待認定された職員
14. センサーがうるさく鳴るので動けないようにしようと思った
15. 「Mに叩かれた」を職員を名指して訴える軽度認知症の利用者

※参加者は事例に目を通してからご参加下さい

➔ [事例一覧] <http://anzennakaigo.sakura.ne.jp/jishu2/0828jirei.pdf>

無料オンラインセミナー開催要領

- 開催日時: 2025年8月28日 13:30~15:00
- 主催: 株式会社安全な介護
- 講師: 株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 参加費: 無料
- 参加方法: Zoomによるオンライン(接続PCは3台まで)
- 申込方法: 下記URLからお申し込み下さい(8月21日締切)
<https://forms.gle/QpK8EiwovX69fzUY8>
お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 大学卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研首席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。
高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp